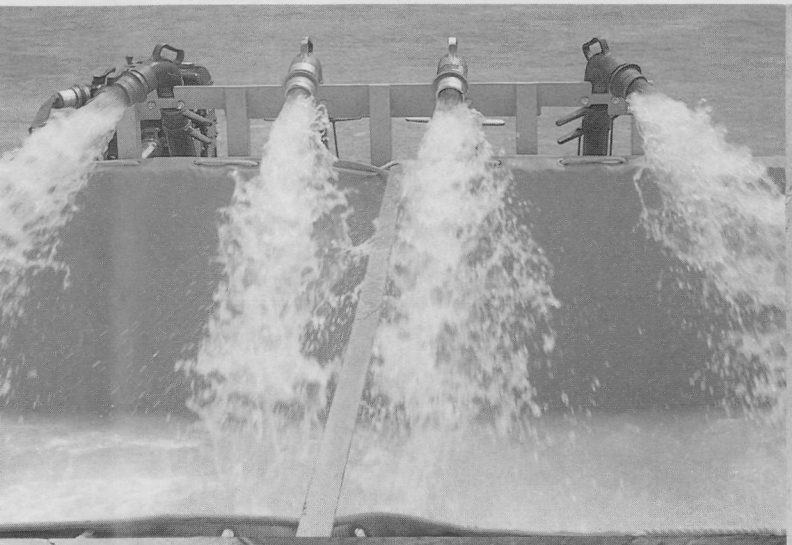
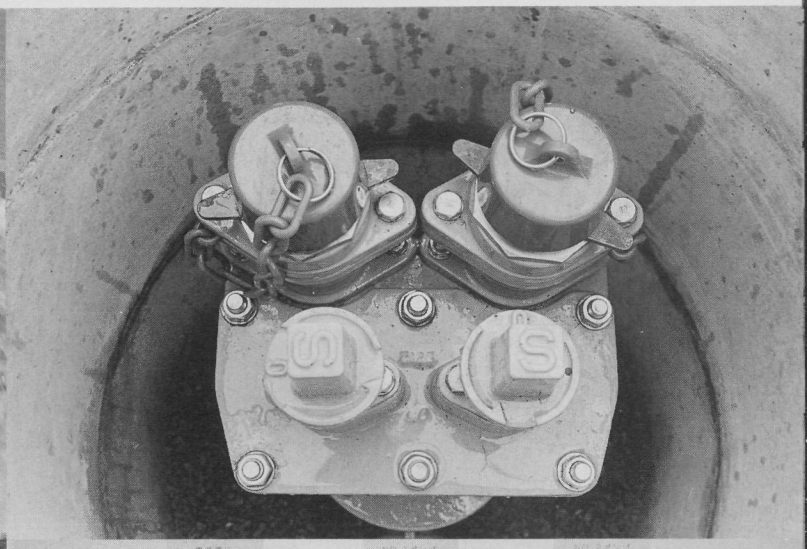
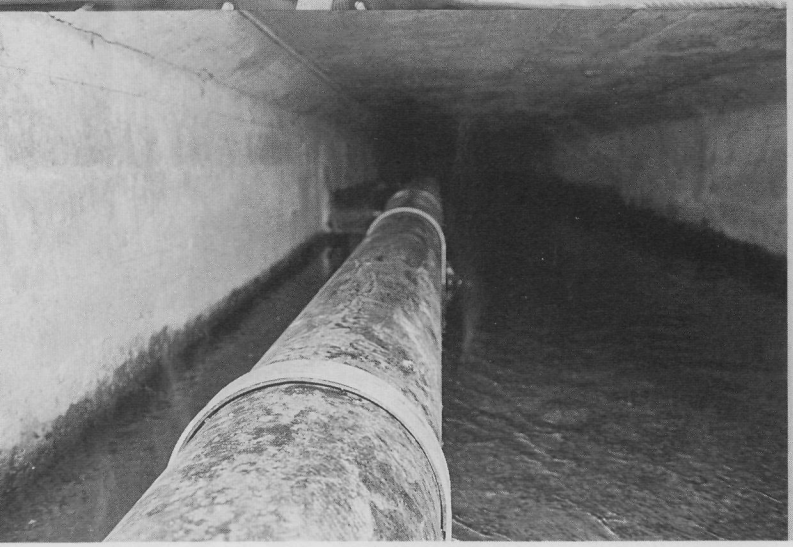
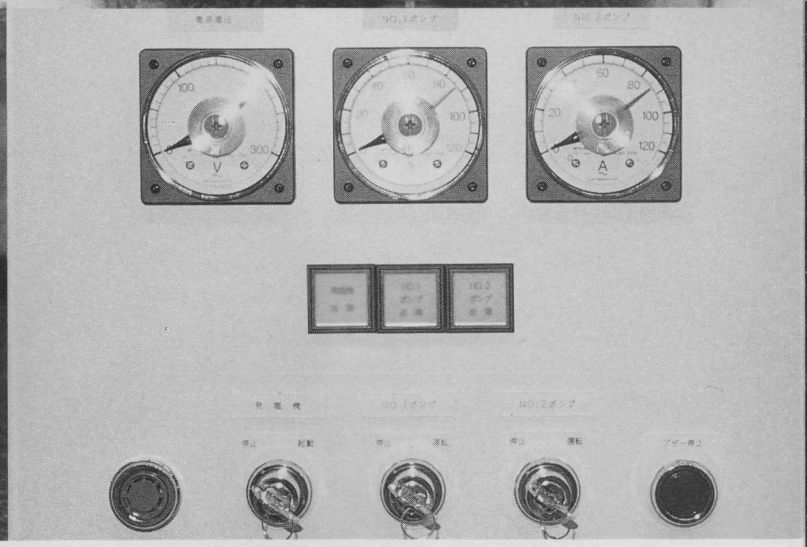
Photo ふなばし









とくしゅう PART 1

全国で初めて実用化
海水利用の大規模消火システム

とくしゅう PART 2

夏休みガイド
ふなばしおもしろスポット

ワンパク王国は家族みんなで遊べます

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話
市民ひとことインタビュー

vol. 74
広報ふなばし写真版
7月号（隔月第4月曜日発行）

全国で初めて実用化
海水利用の大規模消火システム

5月16日に天沼弁天池公園で圧送管システムの送水式が行われました

昨年1月に発生した阪神・淡路大震災は、6300人以上の命を奪うなど、大きな被害をもたらしました。なかでも同時に多発した火災では、消火用水の確保が大きな問題となりました。

船橋市では、この大震災を教訓に、海水等を利用した大規模消火システムを全国に先駆けて完成させました。これは、市が独自に研究開発を進めていたもので、震災による断水時に、雨水を流す下水道管や水路に海水を逆流させて、消火用水として利用するものです。

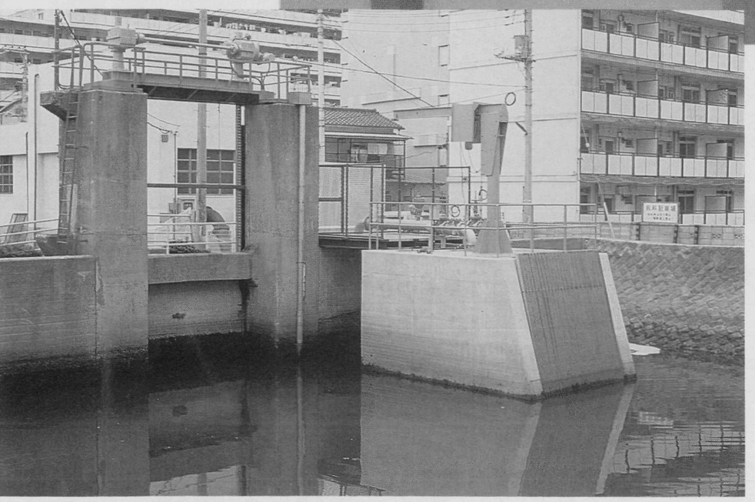
現在、完成しているのは、このシステムのうち、ポンプでくみ上げた海水をパイプ（圧送管）を通して送る圧送管方式で、5月16日には、天沼弁天池公園で送水式が行われました。これにより、船橋駅周辺の住宅密集地域を含む本町、湊町の一部80ヘクタールをカバーします。

また、下水道の雨水放流管に海水を逆流させ、マンホールからくみ上げる下水道利用方式も12月までに完成する予定で、河川や水路から水をくみ上げる直接取水と併せると、JR総武線南側を中心とした1010ヘクタールで消火活動が可能になります。

船橋市では、独自のアイデアを生かし、全国で初めてミニバイク隊を結成したり、自衛隊、医師会などと協力して救命・救急訓練を行うなど、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、災害に強いまちづくりを強力に進めています。

たくさんの関係者や報道陣が見守るなか、

大橋和夫市長の無線連絡で、山谷（さんや）水門の取水ポンプが起動し、送水が開始されました



日の出水路に設置された山谷水門取水ポンプ。システムが稼働すると、このポンプから毎分5トンの海水が取り込まれます

密集市街地の消火活動に大きな効果を発揮します

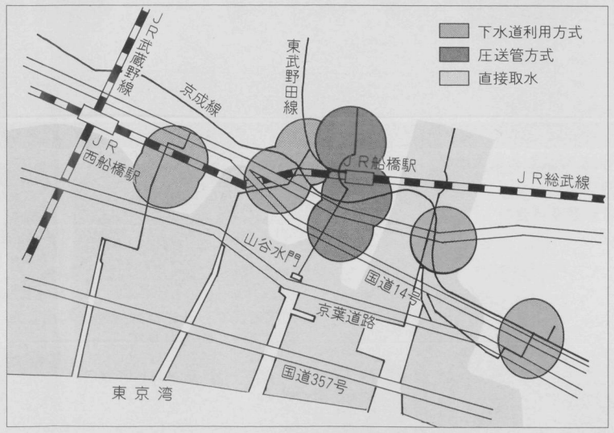
ＪＲ船橋駅周辺は人口が集中し、住宅などが密集しています

宮本１号放流幹線の水門予定地。完成すると、船橋競馬場駅付近の消火活動が可能になります（下水道利用方式）

このゲートから海水を取り込み、海神地区の消火活動を行います（下水道利用方式）

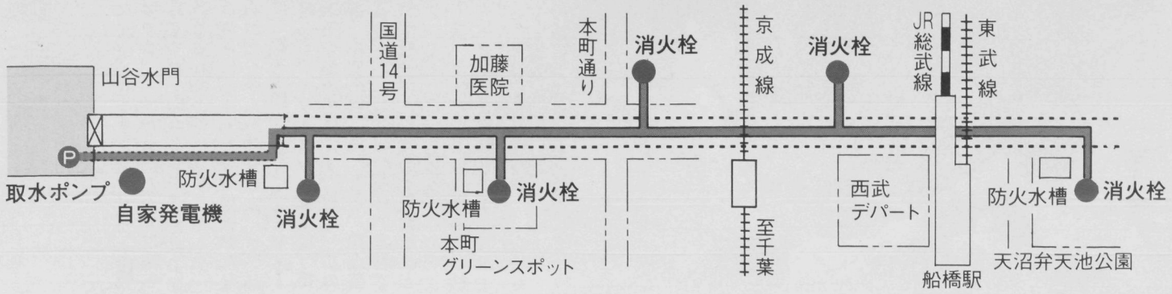
海神小学校付近の雨水管。逆流した海水をマンホールから取水します

大規模消火システムによる消火活動可能範囲



独創的な震災対策を提言した市民や市職員に、大橋和夫市長から「防災アイデア賞」が贈られました

現在完成している圧送管方式の平面略図

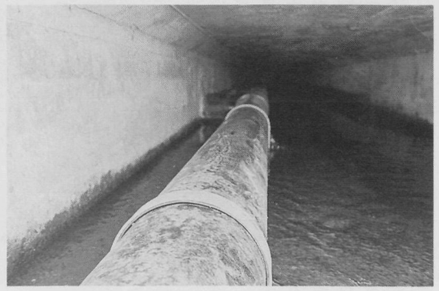


圧送管方式の消火システムについて研修を受ける中央消防署の職員

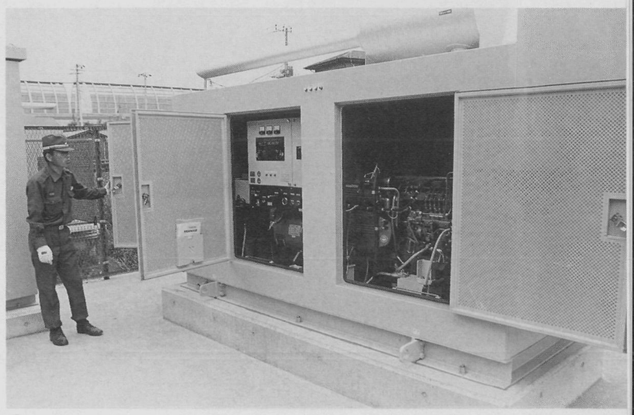
取水ポンプを起動するスイッチは、消防指令センターにあります

消火栓からポンプ車に接続し、圧力を加えて放水します

双口消火栓。圧送管に沿って５か所に設けられています



地下を流れる本海川に敷設された圧送管。耐震性の高いポリエチレン管を使用しています



取水ポンプの動力源となる自家発電機

とくしゅう PART2

夏休みガイド
ふなばしおもしろスポット

ふなばし海浜公園には、１周約300メートルの流水プールや90メートルを一気に滑るウォータースライダーがあります

大人から子供まで楽しめる大小３つのプールがある運動公園

大穴市民プールには太陽熱を利用した温室プールもあります

ぬけるような青空。サンサンと降り注ぐ太陽。いよいよ夏本番です。子供たちにとっては待ちに待った夏休みですね。海水浴やキャンプなど、楽しみにしている事も多いでしょう。

でも、身近な場所にも遊んだり、勉強したり楽しめるところがたくさんありますよ。

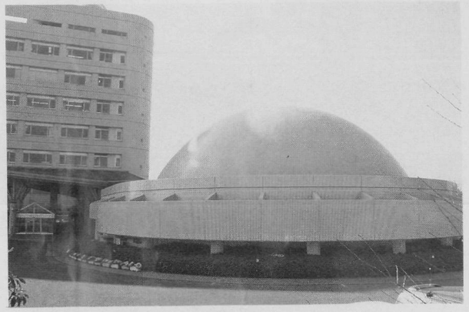
例えばふなばし海浜公園。流水プールや90メートルを一気に滑るウォータースライダーは、毎年子供たちの人気を集めています。また、この時期に行われる〝小室の獅子舞〟など、郷土芸能にふれてみるのもいいですね。そして忘れてはいけないのが宿題。郷土資料館や図書館などが強い味方になってくれるかもしれません。

そこで本号では、夏休みに気軽に出掛けられる市内の施設やイベントを紹介します。

バーベキューやアスレチック、森林浴などが楽しめる船橋県民の森

市内には、９か所の「市民の森」があります。身近な自然に親しんでみませんか（八木が谷北市民の森）

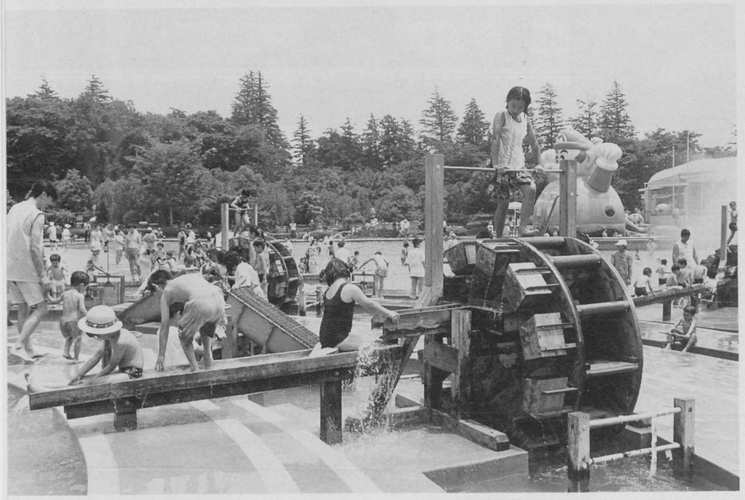
青少年キャンプ場では、８月23～25日に市民ファミリーキャンプが行われます。現在、参加者募集中！



プラネタリウム館で星空のロマンにふれてみては…

船橋の歴史・芸能・民俗・産業などの資料を展示している郷土資料館

西図書館は、古文書や錦絵（にしきえ）など貴重な郷土資料を収蔵しています



ワンパク王国の“アルキメデスの泉”はチビッ子に大人気

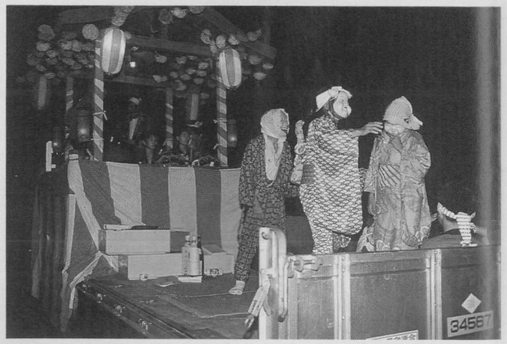
日本有数の規模を誇る111ポイントのフィールドアスレチック（ワンパク王国）

ふなばし海浜公園で行われる「私があげる花火大会」。
今年は８月３日午後７時30分から

印内の八坂神社では、７月22・23日に豊作を祈願する祭礼が行われます

八坂神社前の通りには出店が並びます

悪疫退散と豊作を祈願して行われる「小室の獅子舞」。８月21日に本覚寺、９月１日には八幡神社と山王社でも舞われます（県指定の無形民俗文化財）



毎年７月24日に神保町須賀神社で演じられる「神保ばやし」。市の無形民俗文化財に指定されています

施設名	所在地	電話番号	備考	施設名	所在地	電話番号	備考
ワンパク王国	豊富町６	(57)6627	平日 9:30～16:30 (7/21～8/31) 土・日 9:00～17:00 月曜休園	青少年キャンプ場	大神保町594	(57)1994	電話予約が必要です ㊐青少年課（36)2903
ふなばし海浜公園	潮見町40	(35)0828	流水プールは７/20～９/１ 10:00～16:00　期間中無休	船橋県民の森	大神保町 586－２	(57)4094	9:30～16:30 無休
運動公園市民プール	夏見台 ６－４－１	(38)4461	9:00～19:00（7/20～8/31） 大人300円、小・中学生50円（２時間）	市民の森			市内に９か所あります ㊐公園緑地課（36)2552
大穴市民プール	大穴町 644－18	(67)1127	9:00～19:00（7/20～8/31） 夏休み期間中は無休	スキードームザウス	浜町 ２－３－１	(32)7000	9:00～22:00
郷土資料館	薬円台 ４－25－19	(65)9680	9:00～16:30 月曜休館	サッポロビール千葉工場	高瀬町２	(37)3591	10:00～15:00 電話予約が必要です
プラネタリウム館	東町834	(22)7732	大人410円、４歳～中学生200円 月曜休館	山谷硝子（ガラス）	藤原 ３－17－３	(38)3525	見学は10:00～15:00 8/11～8/18は休業
西図書館	西船 ４－12－18	(31)4385	9:30～17:00（水・金は19:00まで）月曜・祝日休館	日本赤十字社船橋血液センター	豊富町690	(57)0711	10～12時・13～15時、土・日休館、１グループ30人まで・要予約

一年中、スキーヤーでにぎわう世界最大の屋内人工スキー場ザウス

山谷硝子（ガラス）では、工場見学やガラス工芸品の展示・即売を行っています。（10人以上の見学は事前に予約をしてください）

切り子細工に挑戦

日本赤十字社船橋血液センターでは、献血された血液の検査の様子を見学できます

施設内では、ビールの歴史や製造過程を見学することができます

トロピカルな雰囲気のサッポロビール千葉工場

女性消防団が全国大会に初出場

船橋市消防団所属の女性消防団員が、全国婦人消防操法大会の千葉県代表に選ばれました。女性消防団は昨年船橋市で初めて採用。日ごろのポンプ操法訓練やひとり暮らしの老人宅への防火訪問などの活動実績が認められ、大会初出場となったものです。大会は、10月24日に横浜市で開かれ、軽可搬式ポンプ操法の技術を競います。

12人の女性消防団員が、全国大会に向けて、熱のこもった訓練に取り組んでいます

ひとり暮らしのお年寄りを対象に住宅防火訪問を行っています

女性消防団の活動のため、前市議会議員の松崎節生さんから車両が贈られました

ムシ歯予防は乳幼児から 母と子の歯みがき大会

ムシ歯予防は正しい歯みがきから（歯みがきコーナー）

歯科医師による健診

希望者にフッ素塗布を行っています

市では、船橋歯科医師会の全面的な協力を得て、「ムシ歯予防は乳幼児から」を基本に、様々な歯科予防事業を進めています。6月5日、その一つとして、年2回実施されている「母と子の歯みがき大会」が行われました。当日は、268組の母子が参加。歯科医師による健診指導やフッ素塗布などを受けていました。

まちなかの文化財

成瀬地蔵（なるせじぞう）

（印内1丁目）

たくさんの花が供えられた成瀬地蔵

成瀬地蔵の小堂は京成西船駅の近くに建っています

西船橋駅北口から印内経由、行田団地行のバスの通りに面し、立派な銅板葺の、高さ三メートルほどの小堂が目に止まる。堂前左脇に如意輪観音の石仏が一つ、堂内をのぞくと等身大のお地蔵さんが立っている。新しい花がどっさり供えられ、お地蔵さんもきれいに洗われていて——そのお顔、都ぶりではなく、いかにも実直そうな、黙って何でも聴いてくれそうである。

名前が付いていて「成瀬地蔵」。この地の領主だった成瀬家とやはり関係があるらしくて、成瀬正成、之成と続き三代目之虎が五歳で亡くなると無嗣のため家が絶えた。時に、幼い領主の死に同情した土地の女たちがお金を出し合い、自分たちの亡き児の供養を兼ねてこれを建立しただろうという。

長年〝堂守〟を続けてこられた田中一雄さん一家はちょうど今、枝豆の出荷に忙しい。その青い匂い一杯に立ちこめる作業場で、手を休めて田中さんは、ご利益を授かった近所の方の話、今も賽銭、供花の絶えないことなど、いろいろ話を聴かせてくれた。

話の間も間断なく踏切の警報機の音、続けて電車の通過する音が耳を圧するが、田中さんもお地蔵さんも少しも気にはならないようだ。

（文・大木　勲）

〝環境にやさしい　美しい街づくり〟 クリーン船橋530（ごみゼロ）推進員の活動

市民総ぐるみの清掃活動として行われる「ごみゼロクリーン作戦」は、クリーン船橋530推進事業の一つです

6月2日に行われた「第2回ごみゼロクリーン作戦」には、総勢56,000人が参加

ごみ収集ステーションを巡回し、ごみの捨て方をチェックする推進員の皆さん（松が丘地区）

推進員の皆さんを中心に、各地区で美化運動が実施されています（塚田地区）

地域の皆さんにまちの美化を呼びかけています（宮本地区）

地区内の不法投棄パトロールを行っています（夏見地区）

船橋市では、市民の皆さんと一体となって、ごみの減量や資源のリサイクルなどに、積極的に取り組んでいます。平成7年には、ごみの減量化推進に優れた効果を上げた自治体として、厚生大臣から「クリーンリサイクルタウン」の選定を受けるなど、全国から注目を集めています。

昨年からは、クリーン船橋530推進事業をスタートさせ、各町会・自治会から推薦された530人を「クリーン船橋530推進員」として選出。推進員の皆さんは、不法投棄の監視やごみの分別方法の指導、各地区での美化運動の実施など、地域に密着したごみ減量推進運動を展開しています。

平成7年5月30日に行われた530推進員委嘱状伝達式

市内で活動する芸術家の作品が一堂に
第13回 船橋市美術連盟会員展

期間中約2,000人の皆さんが訪れました

6月5日から16日まで、船橋市美術連盟会員展が、市民ギャラリーで開かれました。

船橋市美術連盟は、市内で活動している芸術家が集まって結成しているもので、現在、会員は275人。

13回目を迎えた今回の会員展では、会員の皆さんの力作209点が勢ぞろい。日本画、洋画、彫塑、工芸、書の5部門にわたるすばらしい作品の数々を、訪れた皆さんはじっくりと鑑賞していました。

町会・自治会の力作が勢ぞろい
平成8年度会報コンクール

海神地区連絡協議会の千葉勝雄(まさお)会長に、大橋和夫市長から市長賞が贈られました

市内の町会・自治会が発行している会報紙のコンクールが行われ、6月9日に表彰式が行われました。これは町会、自治会の活動をさらに活発にしようと、昭和63年から行われているもので、今年で9回目。

27団体の応募の中から、海神地区連絡協議会の「わたつみ海神」が、市長賞に輝きました。市長賞をはじめとする入選作品11点は、6月6日から17日まで市役所1階ロビーに展示されました。

入賞作品は、市役所1階ロビーに展示されました

古和釜小学校PTAコーラスは「翼をください」を熱唱

美しい歌声に、会場から大きな拍手が送られました

美しいハーモニーを披露
第3回あじさいコンサート

6月22日、二和公民館で第3回あじさいコンサートが開催されました。これは、市内の小・中学校PTAで結成されたコーラスグループが集まって行われたコンサート。

当日は、古和釜小学校、法典西小学校、薬円台小学校、習志野台中学校、古和釜中学校PTAと塚田小学校の元PTAコーラスグループの皆さんが、日ごろの練習の成果を披露しました。

合同合唱では、参加した120人の皆さんが「サンタルチア」を熱唱。会場には、美しいハーモニーが響き渡っていました。

テーマ
市民ひとことインタビュー
夏の予定は？

劇団の合宿で八丈島に行きます。

泉　貴江(たかえ)さん（習志野台）

ブラックバスを釣りに印旛沼へ行きます。

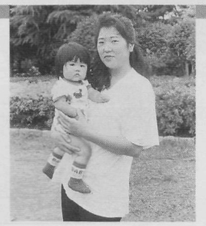
木村　傑(すぐる)さん（田喜野井）

病院でボランティアをやってみたいです。

斉藤みやさん（薬円台）

田舎に帰省したり、子供とプールに行ったりします。

蔵腰昌代さん与田純子さん
田井礼子さん（緑台）



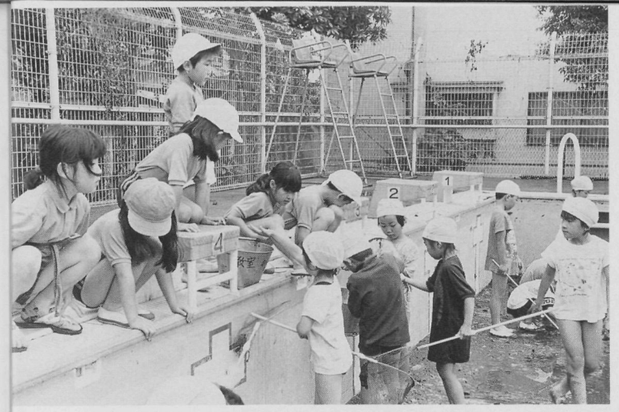
子供がもうすぐ歩けるようになるので、海へ行こうと思っています。

江川真紀さん（東船橋）
実沙ちゃん（10か月）

皆さんからの情報をお待ちしています。

◆広報課
☎ 36－2015

人と自然の共生を考えよう
ヤゴを通して環境学習



二和小学校で行われたヤゴの救出。この後、トンボになるまで観察します

プールに住んでいるトンボの幼虫ヤゴを救おうと、市内で様々な取り組みが行われています。多くの小学校では、学校のプールからヤゴを救出し、トンボになるまで育てています。これは、ヤゴを通して環境について体験的に学習しようと、生活科の授業の一つとして行われているものです。

また、市民団体の「トンボを育てる会」でも、人と自然の共生を学んでもらおうと、様々な活動を展開しています。6月2日には、運動公園プールで「ヤゴ捕り大会」を実施。また、長津川調節池の湿地にトンボ池を作ろうと広く呼びかけ、11月完成を目標に作業を続けています。

毎月2回（日曜日）集まって、長津川調節池の湿地にトンボ池を作っています

運動公園プールで行われた「ヤゴ捕り大会」

11年目を迎えた市民活動
海老川造形市民まつり

海老川にカヌーを浮かべて舟遊び。一日中、順番待ちの列ができていました

まつりの最後には大抽選会も行われ、子供たちは大喜び

「呼び戻そう故郷の自然を！　市民のみんなが主役です」をスローガンに市民団体によって続けられている、海老川造形市民まつり。11回目を迎えた今年は、6月2日に開催されました。

好天に恵まれた海老川沿いの会場には、ゲームやカヌー舟遊び、ガレージセール、模擬店などのコーナーが所狭しと並びました。特設ステージでは日舞やカラオケ、ばか面おどりなども披露され、たくさんの皆さんが初夏の水辺のお祭りを楽しみました。

ふなばしの民話
二和三咲の狐話三題(三)
軍鶏を横取りにした古狐

文・村上昭三

直立した堂々たる姿が愛好者を魅了する軍鶏

これは大正の初め頃の話だそうです。その頃、二和の界隈では、大人達の娯楽に、軍鶏の喧嘩（闘鶏）が流行っていました。

二和の土地の人で、喧嘩の強い軍鶏を飼っている親方がいました。親方はある休日の午後、鎌ヶ谷の初富で開かれる軍鶏の喧嘩に誘われ、自慢の軍鶏を小脇に抱え、その道々

「今日の喧嘩は負けんなよ。一等になったら、泥鰌をうんと上げるからな」

と声をかけながら、歩いて出かけました。

この日、親方の軍鶏は期待どおりに連戦連勝をし、文句なく一等を取りました。これに気をよくした親方は、まるで凱旋将軍になった気分で家路に着きました。

処が、その帰り道の途中、作道添いの藪の中から、

「ゲェー、ゲェー」

と、二和の鎮守様の裏一体を根城にしている悪名の高い雄の古狐の甲高い鳴き声が聞こえて来ました。

これを聞いた親方は、きっとなり、大事な軍鶏を両手で胸の所に抱きながら、

「悪戯者の古狐だな、この軍鶏は、お前なんかには絶対に取られんぞ。さっさと遠くへ消え失せろ」

と言って怒鳴り、ちょっとの間その場所に立って、古狐の声のした方向の藪を睨みつけました。

すると突然、古狐のいる辺りから、

「ポーン」

という途轍もない音がして、子供の頭位の大きさの火の玉が上がりました。

この全く予期しない出来事に、親方はたまげました。そして、地面にどーんと尻餅をついてしまいました。

すると、その一瞬の隙に、古狐は姿を現わし、さっと親方の軍鶏を横取り、すーっと消えました。この素早い古狐の仕業に、親方は完全に負けました。

そこで、親方は数分前までの意気揚々とした勝者の気分は、すっかり飛び去りました。そして、泣かんばかりにべそをかき、肩を落としてとぼとぼと家に帰ったということです。

あい・らぶ・ふなばし

船橋は鉄道がたくさんあって大変便利ですね

神田・ノボル・マリオさん（本郷町）

「お父さんの国を一度見てみたくて、日本に来ました」というマリオさんは、ブラジルのご出身。日本人のお父さんとブラジル人のお母さんのもと、アマゾンで育ちました。「アマゾンというと、ジャングルを思い浮かべる人が多いんですが、結構大きい町もあるんですよ」

3年半前に来日し、船橋には3年前から住んでいます。現在、弟さんと二人暮らし。市内の食品会社に勤めながら、中央公民館の日本語教室に通っています。「船橋は、鉄道がたくさんあって、大変便利ですね。デパートが多いのも魅力です」

趣味は釣り。アマゾン川で鍛えた腕で、ブラックバスを釣りに、印旛沼へよく行くそうです。また、海浜公園や県民の森で、ブラジル人の友達とバーベキューをするのが大好きだとか。

「日本に来てから、まだ旅行をしていないんですよ。富士山と京都には行ってみたいですね」と、笑顔で話すマリオさん。将来の夢は、ブラジルに帰って、牧場を経営することだそうです。

ズームアップ

「自遊都市宣言」なんていいですね

自遊時感コーディネーター

戸田安信さん（松が丘）

旅では、人との出会いを大切にしている戸田さん。中国の街中で食堂の家族みんなと記念撮影（右から3人目）

船橋にこだわりたいですね

「仕事や食事、睡眠などの生活に必要な時間以外を余暇時間というけど、生活すべてを自分で遊ぶ時間、遊びの心をもって活動する時間としてとらえたのが自遊時間なんです」と話す戸田さんは、自遊時感コーディネーターとして、自遊時間を超えた自遊時感を提唱。自遊人協会事務局長やキャンプ協会、卒サラを考える会などを手掛け、野外活動やレクリエーション、講演を通してその普及に努めている。また、レクリエーション協会公認講師としても様々な場で活動している。

戸田さんがレクリエーションに興味を持つようになったのは、ユースホステルのミーティングがきっかけ。「初対面の者同士が打ち解け合える独特の雰囲気と感動にすっかりはまってしまってね」。以来、その感動を伝えようと、市の青少年相談員をはじめ、経済企画庁、中小企業庁などの委員を務めながらレクリエーションの指導にあたる。

自遊時間を強く印象付けられたのは、'82年に青少年相談員のヨーロッパ派遣研修でホームステイした時。3年も掛けてサウナを手作りし、その過程を楽しんでいるご主人と出会ったり、パーティーの席で自然にダンスが始まるのに驚かされたりと、自分で遊べる人たちにふれた。この海外派遣がなかったら今の自分はなかったとも。

「今は、中国病にかかっていて、また中国に行きたくてね。中国人は自然な生活をしてるから、オーラが強くて、その人たちに囲まれてると、こっちも元気になるんです」と戸田さん。

様々な人と出会い、様々な生活にふれ、その生き方を感じてきた戸田さんが得たものは、一般的な概念にとらわれない生き方。

「生まれも育ちも船橋だから、船橋にこだわりたい。船橋市が生活文化自遊都市宣言をしてくれるとね」とビジョンは大きい。

まい・ふぁっしょん

小泉絵里さん（本町）

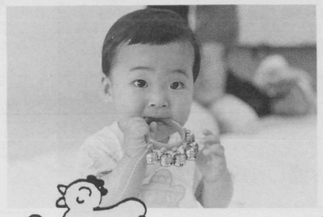
黒のカーディガンにグレーのパンツ、カラフルなブラウスで登場した小泉さん。ロンドンに留学していた時、周りの人が黒い服を上手に着こなしているのを見て、黒が好きになったとか。「服装が暗くならないように、必ず明るい色を取り入れています」と、笑顔で話してくれました。

あとがき

72号から新聞に折り込みになった「Photo（フォト）ふなばし」。皆さんからのおしかりや励ましなど、反響もかなり大きなものがあります。このような皆さんの声を、なるべく誌面に生かし、なお一層親しまれる「Photoふなばし」にしていくため、今号から、誌面の一部を変更しました。記事の一つひとつを、より深く掘り下げるよう、スペースを大きく取って、写真を増やしています。また、市民の皆さんに、より多く登場してもらうため、サークル通信のコーナーを増やし、ハローBabyのコーナーを新たに設けました。

これからも、まちの様子や皆さんの元気な姿を、たくさん載せるよう、スタッフ一同努力していきますので、皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。（松）

ハローBaby



正木　光星（こうせい）くん（小室町）

平成7年7月18日生

お母さんから一言

「健康で素直な子供に育ってね」

〈ハローBaby 応募要領〉8月15日㈭までにハガキに住所、氏名、電話番号、お子さんの名前、生年月日をご記入のうえ、広報課へ。応募多数は抽選。年齢は8月15日現在で1歳未満とさせていただきます。

あすなろ絵画の会

みんなで楽しく絵を描いてみませんか

①平成3年
②西部公民館
③毎週水曜日（夜）
④10人
⑤環境彫刻＆ユーモアアート展などへの出展
⑥法家（はっけ）　兼子
☎0473－35－5004

子供の創造力を高める指導を心がけています

朱桜会（しゅざくらかい）

家庭を美しい生け花でいっぱいにしませんか

季節の花々を生けていきます

①平成元年6月
②三咲公民館
③第2・4金曜日（午後）
④11人
⑤定例会、文化祭
⑥向井　真理子
☎48－6985

みんなの広場 サークル通信

❶発足年月日　❷活動場所
❸活動日　❹会員数
❺活動内容　❻連絡先

浜町女声コロールヴォーチェ

詞を大切に、心をこめて歌います。私たちと一緒に歌ってみませんか

①昭和56年4月
②浜町公民館
③毎週金曜日（午後）
④15人
⑤年2回の発表会、慰問、クリスマスコンサート
⑥山本　洋子
☎34－4150

7月5日には特別養護老人ホーム「船橋梨香園」を慰問しました

FREC（フレック）

私たちと一緒にエアロビクスで楽しく汗をかきませんか

「持久力がつきます」と、元気いっぱいの会員の皆さん

①平成元年5月
②勤労市民センター
③毎週火・木曜日（午前）
④30人
⑤定例会、イベント
⑥加納　郁代
☎34－1631

小学生バレーボール、リトルリーグ野球

船橋っ子が大活躍

7月1日、大橋和夫市長を表敬訪問した船橋リトルリーグの皆さん

佐藤広治選手（二宮中1年）のタイムリー・ヒットなどで3点を先制。元気いっぱいのプレーを見せてくれました

決勝戦もセットカウント2対0と圧勝した法典東クラブA

全国大会では全力を尽くします！

小学生バレーボールの日本一を決める「第16回ライオンカップ全日本小学生バレーボール大会」の千葉県大会決勝戦が、6月30日に船橋市運動公園体育館で行われました。男子は、法典東クラブAが決勝まで圧倒的な強さで勝ち進み見事優勝。8月13日から東京で行われる全国大会に出場します。

また、船橋リトルリーグチームが20年ぶりに東関東連盟の代表として「第30回全日本リトルリーグ野球選手権大会」に出場。惜しくも初戦敗退となりましたが、船橋っ子の元気あふれるプレーに熱い歓声がとびかっていました。

スポーツ健康大学が開校10周年を迎えました

式典であいさつする、スポーツ健康大学学長の大橋和夫市長

「スポーツ健康大学」が、開校10周年を迎え、6月9日に記念式典が行われました。

この大学は、昭和58年に行った“スポーツ健康都市宣言”を受けて、昭和61年4月に開校したもので、スポーツを通した健康なまちづくり、人づくりを進める地域のコミュニティ・リーダーを育成しています。

すでに、545人が卒業して各地区で活躍。8月25日には、天沼弁天池公園で記念イベントも予定されています。

テレビ広報「船橋だより」

うんと生きよう美しく
—船橋市の在宅福祉—

放映日時／7月28日(日) 正午～
再放送／午後8時15分～
（高校野球順延の場合　正午の放送はありません）

放送局／千葉テレビ(UHF46ch)

問合せ／広報課 ☎36-2015

※番組のビデオも貸し出します

Photo(フォト)ふなばし　Vol.74【1996年(平成8年)7月22日号】　編集発行　船橋市役所広報課　〒273 船橋市湊町2－10－25　TEL 0474-36-2015　FAX 0474-36-2769